

——の右側がわに、漢字かん または 漢字とおくりがなを
書きましょう。

やすみじかんにみつけた おちばや きのみは、りかの

じっ験けんや ずがじっさくに 使つかいます。

あたらしく ならう しゃかいの きょうかしょを、まっ

せきに ひらいて よんでみました。

よんちようめの じっえんで なにか 動どうぶつを みつ

けたら、しゃしんを うつしましょう。

しよじゅばいをするには、お客きやくさまの たちばで ものを

かんがえる ことが たいせつです。

ぶんづうあいてに、そう談だんのてがみを おくりました。

このまえ のぼった きのでばで、じ件けんがあったそうです。

あのほんの とつじょうじんぶつが 住すんでいる ばしょ

は、このすぐ ちかくです。

いつか、おしゅうじのせんせいになりたいです。

このちかくに、とぎんグッズのおみせが かいてんすると

放ほうそうしているのをみました。